

害獣接触・追突防止へ

事故増 注意喚起マップ作成

中国トラック交通共済協同組合（小丸成洋理 理事長）は、新規事業として、害獣やノシシなど害獣に注意すべきルートや場所を示したマップの作成の後、後退時事故を減らすための視覚教材の作成③目の健康をセルフチェックするための



中国トラック交通共済協同組合のマップ。2025年交通事故0への挑戦をテーマに、害獣やノシシなど害獣に注意すべきルートや場所を示したマップの作成の後、後退時事故を減らすための視覚教材の作成③目の健康をセルフチェックするための

聴覚・目の健康対策

平賀哲二専務は「突然路上に飛び出す害獣を避けるのは難しい。出退頻度の高いルートや場所を示して、

また、これまで健康起因事故防止セミナーを開催し、血圧や血糖の健康状態をチェックできるスマート事故防止システムを組合員に貸し出す事業を展開してきたが、25年度は目の健康に着目、高齢化により緑内障などを発症するドライバーが増えていると推測し、日本眼科医療センター（都山崎の社長、仙台市泉区）の短時間で簡単にセルフチェックできる検査機器をセッ

高知県トラック協同組合（馬宮 彦理理事長）と高知県トラック協会の青年部会（田中敬太郎会長）は5日、オプティの猪野栄一社長を講師に招き、車両整備の費用と時間の削減について学んだ。



高知県トラック協会の青年部会（田中敬太郎会長）は5日、オプティの猪野栄一社長を講師に招き、車両整備の費用と時間の削減について学んだ。

山口県トラック協会の岩田支部（高瀬孝彦支部長）は4日、研修会を開き、高瀬支部長は「代表者や管理職だけでなく、従業員も含めて賢くなることが必要。事業許可更新制が検討されており、適正化事業実施機関の巡回指導で低評価の事業者からは事業許可を取り上げる時代がすぐに来る。雇用をどうするか、一番の課題で、業界全体が一致協力して事業存続できるようにしていく」と呼び掛けた。

大東陸運（片岡賢社長、高知県土佐市）は交通安全防止を徹底するため、少人数での安全講習を取り入れて、20年前から継続的に行っている。2月10日、ドライバー50人が4、5人単位に分かれて受講。一方的なセミナー形式ではなく、外部講師がそれぞれの特性に応じた双方向型の指導、教育を行う。

安全運転と交通事故防止にも安全運転事業所表彰の銀賞に何度も認定された。これらの取り組みが奏功し、四国交通共済協同組合（田中中等理事長）の優良割合率が最高を維持している。

少人数で安全講習 軽微な事故、根絶へ



持するなど、経営面でもメリットを生んでいる。主力は地元で生産された青果物、花き、紙製品などの長距離輸送で、このほか、量販店を中心に青果物や食品の県内配送サービスも提供。トラックを60台保有し、半数が県外便となっている。

段ボールなど配送開始

原運輸 人材活用へ仕事創出



原運輸（原幸喜社長、松山市）は3月から、二つの配送業務を始めている。既存の車両を活用して業務を拡大するとともに、高齢ドライバーのセカンドキャリア創出を図っている。

製品は、松山市の工場から県内をはじめ四国全域に製品を届けている。更に6日から、ネットスーパーの宅配を開始した。担当エリアは松山、東温の両市で、ユーザー登録した消費者を対象としている。稼働は週5日、勤務時間午前11時から午後6時に定まっております。不在の場合、20日に県政の発展に

愛媛県トラック協会（御手洗安会長）の石田裕副会長は、教育文化や地方自治など九つの部門から45人が選ばれた。石田氏は2011年5月に愛媛協会の役員に就き、23年5月から副会長として活動中。現役役員からの近年

知事表彰を受賞 県政発展に貢献



石田裕副会長は、教育文化や地方自治など九つの部門から45人が選ばれた。石田氏は2011年5月に愛媛協会の役員に就き、23年5月から副会長として活動中。現役役員からの近年

山口県トラック協会の岩田支部（高瀬孝彦支部長）は4日、研修会を開き、高瀬支部長は「代表者や管理職だけでなく、従業員も含めて賢くなることが必要。事業許可更新制が検討されており、適正化事業実施機関の巡回指導で低評価の事業者からは事業許可を取り上げる時代がすぐに来る。雇用をどうするか、一番の課題で、業界全体が一致協力して事業存続できるようにしていく」と呼び掛けた。

大分県トラック協会（仲浩会長）は3日、県下商工会議所会頭に、適正運賃・料金確保に向けた取り組み、緊急輸送体制の整備などを説明。大分協が24年10月に

鹿児島県トラック協会（鳥部敏雄会長）は4日、研修センター開館記念として、安全・環境機器展示会を開催し、最新の冷庫車やトレーラー、テールリフト、リリー用のトラックなどを展示した。

このほか、研修センター「後方安全防止システム」の正しい使用法」のテーマに、ドライバーがそれぞれ講演した。（上田慎二）



肥後六花会部会長 竹下 由美氏

メディア向け発信強化

「若い女性が職業の選択肢の一つとして魅力を感じる業界にしたい」と話すのは、熊本県トラック協会女性部会（肥後六花会）の竹下由美部会長。

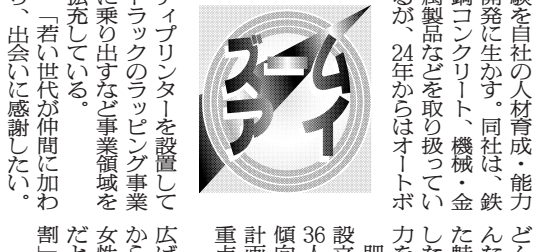
1月に菊池女子高校で行った出前授業には、全学年から170人の生徒が参加。授業後の生徒を対象にしたアンケートで「物流は

「2024年11月、地元高校の文化祭に招待され、3年前に菊池女子高校で開いた物流出前授業がきっかけで、県内の運送会社に就職した卒業生に出会う。ドライバーの彼女は、地元の高校からドライバーの活動で学んだ知識や経

「2024年11月、地元高校の文化祭に招待され、3年前に菊池女子高校で開いた物流出前授業がきっかけで、県内の運送会社に就職した卒業生に出会う。ドライバーの彼女は、地元の高校からドライバーの活動で学んだ知識や経

「2024年11月、地元高校の文化祭に招待され、3年前に菊池女子高校で開いた物流出前授業がきっかけで、県内の運送会社に就職した卒業生に出会う。ドライバーの彼女は、地元の高校からドライバーの活動で学んだ知識や経

女性活躍アピール



肥後六花会は17年11月に設立し、現在は女性経営者36人で構成。部会長は増加傾向にある。新年度の事業計画でも、物流出前授業を重点事業に掲げる。

肥後六花会は17年11月に設立し、現在は女性経営者36人で構成。部会長は増加傾向にある。新年度の事業計画でも、物流出前授業を重点事業に掲げる。

大分県トラック協会（仲浩会長）は3日、県下商工会議所会頭に、適正運賃・料金確保に向けた取り組み、緊急輸送体制の整備などを説明。大分協が24年10月に

鹿児島県トラック協会（鳥部敏雄会長）は4日、研修センター開館記念として、安全・環境機器展示会を開催し、最新の冷庫車やトレーラー、テールリフト、リリー用のトラックなどを展示した。

このほか、研修センター「後方安全防止システム」の正しい使用法」のテーマに、ドライバーがそれぞれ講演した。（上田慎二）

適正運賃・料金への理解

大分協、県下商議所に要望

大分県トラック協会（仲浩会長）は3日、県下商工会議所会頭に、適正運賃・料金確保に向けた取り組み、緊急輸送体制の整備などを説明。大分協が24年10月に

鹿児島県トラック協会（鳥部敏雄会長）は4日、研修センター開館記念として、安全・環境機器展示会を開催し、最新の冷庫車やトレーラー、テールリフト、リリー用のトラックなどを展示した。

このほか、研修センター「後方安全防止システム」の正しい使用法」のテーマに、ドライバーがそれぞれ講演した。（上田慎二）